

教科	科目	対象学年学科	単位数	教科書	使用教材
国語	現代の国語	1年普通科	2単位	現代の国語 (数研出版)	常用漢字ダブル クリア (尚文出版)

到達目標	<p>① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。</p> <p>③ 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いを深める。</p> <p>④ 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	---

評価の観点	① 知識・技能	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。
	② 思考・判断・表現	<p>「話すこと・聞くこと」において、自分の考えをまとめ、深めて目的や場面に応じて的確に話したり、聞き取ったりしている。</p> <p>「書くこと」において、相手や目的に応じて適切に文章を書くことができる。</p> <p>「読むこと」において、自分の考えを深めたり発展させたりしながら、様々な文章を的確に読み取ったり、読書に親しんだりする。</p>
	③ 主体的に学習に取り組む態度	積極的に活動に取り組み、国語や言語文化に対する関心を深めている。自分の考えを深めたり発展させたりしながら、進んで表現したり理解したりするとともに伝え合おうとしている。

学習の評価	<p>1 定期考査では①「知識・技能」②「思考・判断・表現」を中心に評価する。</p> <p>2 予習状況・課題の提出状況・授業中の発問と応答によって③「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>1の評価に2および出席状況を加味し、総合的に評価する。</p>
-------	--

単元	学習内容	学習到達目標
社会と文化	「コミュニケーション能力とは何か」	・コミュニケーション能力について認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
	「水の東西」	・西洋文化、日本文化それぞれの特徴について理解し、考えたことを適切に表現できる。
対比する	「デジタルメディア時代の複製」	・自分の意見について、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開を工夫して書くことができる。
新しい視点	「ポストプライバシー」	・具体例など本文の叙述を基に、今日の社会についての筆者の考察を的確に捉えている。
実用の文章	「資料を分析して考	・資料から読み取ったことや自分の考えを、語句や

問題を提起する	えをまとめる」 「感情暴走社会の由来」	表現等を適切に用い、意図が明確に伝わるように書くことができる。 ・評論の展開を理解し、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、論理的に文章を書くことができる。
環境と科学	「動物園というメディア」	・筆者の問題意識を自らの生活に引きつけて捉え、様々な観点から情報を収集、整理して考えを深める。
ことばの働き	「ものごとことば」	・筆者の主張を的確に読み取り、ことばの役割や使い方について再確認する。
賛否を述べる	「命は誰のものなのか」	・本文をもとに自分の考えを持ち、相手に意図が伝わるように文章を整えることができる。
新しい視点	「政治的思考」	・文章の主要なテーマを的確に理解し、「政治」に向かう態度について、他者と意見を交わすことで考えを深める。
解釈を述べる	「事実なのか考えなのか」	・読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直すことができる。
認識の枠組み	「他者を理解するということ」	・評論読解の着眼点を意識して読解し、文章の主題を自分の体験に引きつけて考える。
	「浪費を妨げる社会」	・筆者独自に意味づけされた概念を的確に理解し、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価している。
具体例を示す	「動的平衡の回復」	・評論の内容に沿った具体例を調べ、他者にわかりやすく説明する。
意見を述べる	「無痛化する社会のゆくえ」	・事実と筆者の主張を区別して内容を理解し、別のテキストとも関連づけながら、自分の意見を述べる。
認識の枠組み	「白」	・抽象度の高い文章を丁寧に追いかけることで、様々な着眼点に気づき、自分の考えを深める。
言語技術の実践	「ディベート」	・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的に応じて、結論の出し方を工夫している。
関連付ける	「絵を前に思いをめぐらす」	・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、自分の考えを表現しようとしている。